

Ⅲ 関係機関との連携

1 子どものための相談窓口連絡会議

子どもアシストセンターでは子どもに関するさまざまな相談や救済の申立てを受けていますが、札幌市内には、他にも国、北海道、民間団体など多くの相談機関があります。

子どもに関する問題が多様化、複雑化する中で、個別の特性に配慮しながら問題の解決や改善を図っていくためには、行政機関だけではなく、民間団体等も含めた幅広い連携が必要となります。

そのため、相談機関相互のスムーズな連携が図られるよう、他の相談機関に呼びかけて「子どものための相談窓口連絡会議（官民20機関が参加）」を開催しています。

平成28年度は、平成28年7月27日（木）と平成29年3月6日（月）の2回開催し、各機関がお互いどのような機能や特徴を有しているかなどの情報交換、他の機関におけるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した相談活動の先進的な取組みについて報告いただき質疑等を行いました。

今後も引き続き、子どもにとって最適なサポートが図られるよう、更なる連携協力を進めることにしています。



【会議風景】

2 活動状況の報告等

権利の侵害から子どもを救済するために最も大切なことは、関係者の理解と協力を得ながら、子どもと子ども、子どもと大人の関係調整を図っていくことです。

そのためには、子どもアシストセンターの活動状況や相談から見えてくる子どもを取り巻く課題などについて、学校やPTAなどの関係団体に対して積極的に情報を発信し、十分に理解してもらうことが重要であり、このことが再発防止や予防にもつながると考えています。

このことから、さまざまな機会をとらえて、活動状況の報告や説明会を行っています。

【主な報告機関等】

名称	報告日
北海道教育庁	平成28年8月17日
札幌市青少年育成委員会連絡協議会	平成28年8月19日
札幌市学教連絡会	平成28年8月23日
北海道私立中学校・高等学校協会札幌支部会議	平成28年11月7日